

まちの話題

特集(巻頭)

タウントップニュース

HOTとく

市政リーダー

インフォメーション

施設情報・相談

はぐくみ

特集(巻末)

栄光輝く

まちの話題



長寿犬表彰式典(11月14日)

摂丹獣医師会主催・市共催で、狂犬病予防注射を接種済みの満17歳を迎える犬を表彰しました。犬種によって多少差がありますが、犬の17歳は人間でいうと90歳くらいに相当し、今年は34頭が表彰対象となりました。式典で摂丹獣医師会会長である竹内亮二さんは「獣医師会が人と動物の架け橋となるよう努めていきたい」と話されました。表彰された犬とその飼い主には犬の写真入り表彰状が手渡され、長寿を祝いました。

ぬくもりの丹波木綿展示会(11月11～12日)



6年ぶりに農家高齢者 創作館(栗柄)で開催された「ぬくもりの丹波木綿展示会」。丹波木綿保存会(岡本美和代表・15人)が制作された着物や反物、バッグなどの約200点が展示されました。参加者は、はた織り体験を楽しみながら、丁寧に織られた作品を鑑賞しました。

認定農業者、大内アメリカさん(11月14日)

大内アメリカさん(今田町本荘)が新たに認定新規就農者に認定され、認定証が手渡されました。大規模農業を営む家族の姿を見て農業を志した大内さんは、高校卒業後、ブドウ栽培やイチゴ栽培を学び、今年8月に独立。「農業を通じて、地域の活性化に貢献したい」と笑顔で話されました。



第23回なかしんふるさと賞贈呈式(10月26日)



中兵庫信用金庫三田本部で、社会活動などを通じて活躍のあった方々へ、同金庫主催のなかしんふるさと賞贈呈式が行われました。市からは(有)萬半、丹波開発(株)、篠山まちなみ保存会、谷口功さんが受賞され、これまでで最多の市からの受賞者数となりました。

季節外れのスイカが実る(11月14日)



倉垣周行さんのお宅で、季節外れのスイカが実りました。倉垣さんによると、ベランダで飛ばした種が芽を出し、異常な暑さもあってスイカが実ったのではないかとのこと。お子さんはスイカ割りをご希望のようです。



前 篠山まちなみ保存会会長
小林一三さん(河原町)

芸術文化の振興、文化財の保護等、地域文化の振興に功績のあった個人および団体に対して、その功績をたたえ文部科学大臣が表彰するもの

平成5年に下河原町自治会長を務めたのを機に、町並み保存への機運を高めてきた小林一三さん。国の重要伝統的建造物群保存地区への選定をめざし、平成12年に篠山城下町伝統的建造物群保存問題検討委員会を立ち上げられました。平成16年に伝建地区に指定されると、翌年に篠山まちなみ保存会初代会長に就任。修景計画にも尽力されました。小林さんは、「町並み保存に年月はかかりましたが、今の状況を大変喜んでいますが」と話されました。



朗読ボランティア山うぐいす

朗読ボランティア山うぐいす(新家陽子代表・17人)は、視覚障害者への情報提供の充実を図るため、昭和56年に結成されました。中央図書館を拠点に市広報・市議会だより・社協だよりの広報紙を音訳したCDを利用者に届けられています。独自の取り組みとして、毎月、市内のニュース記事を集めたCDやエッセイ、書籍などをまとめた「話の小篋」のCDを作成し届けられています。受賞を受けて、山うぐいすの皆さんは、「今後もリスナーに寄り添った活動を続けていきたいです。そして、新しいリスナーと一緒に活動する会員を増やしていければ」とその思いを話されました。



古林 宏之さん(杉)

地域社会にあって長年にわたりひたむきな努力を続け、地域の文化の向上に貢献して、その活動と功績が著しい個人または団体に送る賞

幅広い世代に音楽の魅力を伝えるとともに、杉自治会・秋祭礼の神輿の宮入り時にかき手が唱和する「伊勢音頭」の復活に尽力された古林宏之さん。小学校の教員として音楽教育に情熱を注がれるとともに、篠山少年少女合唱団の発足時から指揮者として12年間指導され、青少年の育成に尽力されました。教員退職後もシニアアンサンブルでアコーディオンの演奏者として、福祉施設を慰問して演奏する活動を続けて来られました。受賞には「このような賞をいただき、身に余る思いでいっぱいです」とその喜びを話されました。

地域文化功労者表彰
(文部科学大臣表彰)

社会福祉およびボランティア
功労者厚生労働大臣表彰

兵庫県ともしびの賞

栄光輝く

長年の功績や日々の努力を褒め、
栄光に輝いた皆さんをご紹介します

丹波篠山ブランドロゴマーク
みんなで丹波篠山をPRしよう！

ブランド戦略課窓口にて
マスキングテープ
販売中
各色 1個 200円



丹波篠山市民ミュージカル 第11弾

ノートルダム・ド・パリ
～愛と宿命の物語～

2024年2月11日(日)・12日(月・祝)

《昼の部》12:00開演 / 11:30開場
《夕方の部》16:00開演 / 15:30開場

チケット絶賛販売中!
一般 1,500円 / 高校生以下 1,000円
(当日 各500円アップ)

問い合わせ 田園交響ホール TEL 552-3600



15世紀のフランス パリを舞台にした一途な愛と交錯する哀が深く心に刻まれる哀しくも美しい「宿命」の物語。小学1年生から70歳代まで幅広い世代の71人が、感動の舞台をお届けします。

丹波篠山市剣道連盟 中学部を4月から開設します

丹波篠山市中学校剣道部は、市内で1つのチームとなり、地域団体「丹波篠山市剣道連盟」の「中学部」として地域移行します。

活動日時
○月・火・水・金＝篠山中学校剣道部【放課後から最終下校時刻】
／丹南クラブ(丹南中学校武道場)【放課後から最終下校時刻】
○毎週土曜日＝篠山中または丹南中で合同稽古

指導者
・堀毛孝さん(篠山中学校部活動指導員)
・高橋智徳さん(丹南クラブ指導者)
・モリス・ナタリーさん(丹南クラブ指導者)
・伴太貴さん(篠山中学校剣道部顧問)

※以上は丹波篠山市剣道連盟の指導者です。

問い合わせ 篠山中学校 伴太貴さん(篠山中剣道部顧問) ☎552-1155



第35回丹波篠山映像大賞(11月26日)



「生きる」をテーマに、アマチュア映像作者の作品を公開審査するコンテストが、四季の森生涯学習センターで行われました。62作品の応募作のうち、ファイナリスト6作品が上映。審査の結果、大賞には櫻井乃衣さん(東京都)の作品「今日もここから」が選ばれました。

政成晴輝さん出前授業(11月10日・15日)



丹南中学校、篠山中学校で市出身パラ陸上やり投げ選手の政成さんによる出前授業が行われました。生徒たちは、視覚障害のある方の目の見え方や、障害のある方へのサポートの仕方などを、実践も交えて学びました。生徒たちにとって貴重な学びの場となりました。


古民家でくらしのお試し【お試し住宅(旧西村家)】(11月26日)



市野々地域にお試し住宅(移住希望者が地域で一定期間暮らせる建物)が完成しました。空き家となっていた民家を、地域おこし協力隊の加藤俊希さんが地域の施工業者と整備。腐食した柱の修理に金輪継という技法を用い、土壁を練り直して再活用するなど、昔の面影を残したまま推定築140年の古民家が移住者との交流の拠点として生まれ変わりました。お試し住宅の受け付けは年明けから開始予定。


左から竹中一真さん(建築士)、加藤梨絵さん・蔵之助くん・俊希さん、大野久美さん(所有者)

吉田守禮さん、全国大会へ(12月5日)



味間小1年生の吉田さんが、大阪で開催された選抜大会で優勝し、全日本ジュニアチャンピオンシップ空手道選手権大会出場を決めました。吉田さんの強さの秘訣は、積極的に仕掛ける攻めのスタイル。表敬訪問の際、吉田さんは「目標は優勝」と力強く話し、キレのある突きを披露されました。

落ちない山の芋で受験生を応援！(12月2日)



山の芋はすりおろした器をひっくり返しても落ちないほどの粘り強さ。受験生を応援しようと、特産館ささやまで、落ちない山の芋の販売が開始されました。この日は春日神社(黒岡)で、山の芋を神前に供えた合格祈願も行われ、受験生らが買い求めました。

